

# 平成26年度 介護労働講習

(実務者研修を含む)

～ 私達は介護のプロを応援します ～



講習期間

平成26年6月3日～平成26年11月14日

公益財団法人 介護労働安定センター静岡支部

※掲載している写真、氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。



# 修了おめでとうございます！



## 修了生へ贈る言葉

受講生40名全員がそろって修了式を迎えることができ、大変嬉しく思っております。年齢も経歴も違う人たちが、介護の道を目指し一堂に会し、机を並べ、またある時は実技にと過ごした日々は、多くのことを学びかつ何事にも代えがたい仲間との出会いの機会であったことでしょう。

これから皆さんは各々新たな職場に就かれることと思いますが、40名とともに目指した初心を忘れずに日々励んでいただきたいと思います。

静岡支部長

# 講習の実施風景

座学・演習・生活支援技術など



◎ 開講式



◎ 生活支援技術演習



◎ 医療的ケア演習



◎ リフト体験



◎ 生活支援(お裁縫)



◎ 修了証書授与



◎ 調理実習



◎ 修了評価試験



# 介護労働講習(実務者研修を含む)を終えて…



今年は40名の受講者が講習を修了し、  
それぞれの道へ進んでいきました……  
そんな修了生の感想をまとめましたので、ご紹介いたします。



どの先生も丁寧に親切に教えてくださり、わかりやすくてよかったです。先生方の実体験のお話がとても参考になりました。介護職としてのプロ意識の高さを感じる情熱的な講義をありがとうございました。

こんなにも広範囲に色々な事を勉強しなければならないのか、覚えられるだろうか、と不安だらけでしたが、今思い返してみると、これだけの勉強は絶対に必要だったと思います。

介護過程の実技演習は、経験豊富な先生方に教えていただけて、とてもよかったです。就職後に活かされると思います。

医療的ケアは、もう少し時間がほしかったです。もっと練習したかった!!

実習先の施設のスタッフの方々に、現場での楽しさ、厳しさを教えていただきました。実際の現場を見てみるのは大変役立ちました。

実習を経験して理解できたことがたくさんありました。貴重な体験になったと思います。

40歳を過ぎてからクラスメートができたことが、私の一番の宝となりました。勉強させていただいたことを活かし、再スタートします。ネガティブ思考だった自分がポジティブになれた研修でした。

6ヶ月間、ご指導いただきまして本当にありがとうございました。介護業界は初めてですが、色々な事を教えて頂きましたので、この経験を生かして頑張っていきたいです。

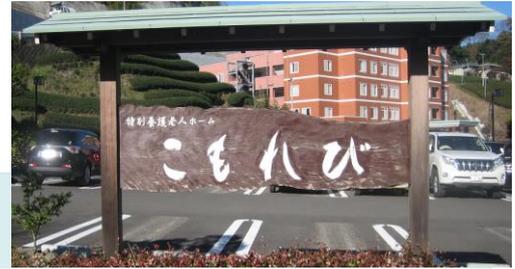
実務者研修を受講できたこと、大変感謝しています。楽しかったし、クラスメートは最高の仲間であり宝物です。多くの人に勧めたいです。



# 就職先をたずねて

## 事業者さまの声

(福)吉原福祉会 特別養護老人ホーム こもれび



施設長 池田 達哉 氏



Q:採用した決め手などは？

A: 私は無資格者や未経験の方でも、現場で経験を積みばいいと思って採用していますが、6ヶ月の研修を修了してきた彼らは、介護や高齢者に対する考え方がしっかりしています。これはとても大事なことだと思うんです。知識の裏付けがあるので成長しやすいと思います。

Q:普段の仕事ぶりはどうですか？

A: みなさん、安定してお仕事してくれていますよ。どんどんいろんなことを吸収してくれるし、1年、2年と経ってくれば芽が出てくるのではないかと期待しています。1年くらい経つと仕事にも慣れて施設の状況を把握してきますので、自分なりに考えて提案を出してくれます。将来が楽しみです。

Q:介護労働講習の内容などについてのご感想は？

A: 利用者さんとの人間関係を築いていくということは、介護される人、する人、という関係ではなく、人としてどうつきあっていくか、という感覚が必要です。その人の今までの生活歴を見ながら暮らしを支援していくという考えで接してほしいと願っています。6ヶ月の研修を修了した人はそれをよく学んできていると思います。



Q:これから受講される方へのメッセージをどうぞ

A: 利用者は、来たくて来る人より、やむを得ず来るという人の方が多いと思います。それでもその人が、できる限り家で過ごしていた環境に近いリズム、趣味、嗜好に合わせた暮らしを提供したいと考えています。マンツーマンではないし思うようにはいきませんが、それでもその中で最期を迎える人が多いのですから、その時、温かく穏やかに幸せに最期を迎えられるのか、暗く寂しくつまらない気持ちで迎えるのか、私たちの関わり方次第で大きく変わってきます。良い人生だったと思っていただける介護をしたいのです。ですので、入居者に対する気持ち、関わり方をしっかり学んできてほしいと願っています。



## 就職者の声

渡辺大介さん（平成25年度 実務者研修修了者）

Q:介護労働講習で学んだことは？

A: ボディメカニクスの原理を学べたことは、現場で活かされていますし、認知症について深く学んできたため、現場へ来てから、ギャップに悩まされることもありませんでした。

Q:実際に介護のお仕事に就かれた感想は？

A: 前職では、人に頭を下げてばかりの仕事でしたが、ここでは日々感謝されている、それを素直に嬉しく思います。  
今はまだ、要求されたことをそつなくこなしているだけですが、もっと自分で考えて動けるようになりたいと思っています。

Q:これから受講される方へのメッセージをどうぞ

A: 現場に入って一ヶ月くらいしないと続けていけるかの判断はできません。まずはやってみてください！



この施設には、平成22年度 介護職員基礎研修修了者の  
佐野充男さん(左)と加藤淳さん(右)も就労されています!!



★ 後輩の仕事ぶりについて佐野さんにお伺いしました。

目的を持って講習を受講し、就職しているので仕事は初心者でも、やる気があり覚えるのも早いです。漠然と仕事をしているのではなく、きちんと考えて行動していますよ。

★ これから受講されるかたへのメッセージをお願いします。

一言で介護といっても、身体介護、生活支援、認知症介護等、さまざま、自分がやりたいと思っている介護を明確にしてほしいです。  
そして、長く介護職として携わってほしいと願っています。



## 主任様の声

(福)吉原福祉会 特別養護老人ホーム こもれび



特養事業部 介護リーダー 山梨 幸子 氏



Q：当センターの介護労働講習修了者の仕事ぶりはいかがですか？

A：当施設には、介護職員基礎研修修了者を含めると6名が勤務しております。  
彼らは、ユニットリーダーやサブリーダーを担っていたり、今後大いに期待できる人など、意欲的に頑張っている職員です。  
入職当時から基礎への理解があるため、他との違いも見え、仕事に対する姿勢もしっかりとしています。

Q：介護労働講習の内容などについてのご意見をお願いします。

A：長い研修を通して、介護の世界観を知ることになります。  
介護の世界観は人の道とも言えます。  
この研修を受けることができる受講生は、本当に良い機会を得た人だと言えらると思います。  
他者との関わり、特に高齢者との関わりへの学びに、自分を見つめ直す機会でもあると思います。  
人の心と体に着目した介護過程、ICF等の内容は、現場において欠かすことができません。  
この研修には感謝しています。

Q：これから受講される方へのメッセージをお願いします。

A：この研修は、介護者としての学びだけでなく、人としてのあるべき姿としても有意義なものです。  
人は必ず「老い」ます。  
立場を置き換えながら考えると領けると言えます。  
介護者としての、しっかりとした礎を学ぶことは、直ちに現場の中で反映できます。  
現場は、この研修を修了した人材を求めています。  
長い研修です。現場からエールを送りたいと思います!!

